



# 宮崎労働局長 記者発表項目一覧

令和元年7月30日（火）

## 記者発表項目

- ① 雇用失業情勢《令和元年6月分》（7月30日発表）
- ② 宮崎労働局・労働基準監督署・公共職業安定所の行事予定  
《令和元年8月》（7月30日発表）
- ③ 宮崎労働局広報紙「GOGO!宮崎労働局」（第29号）

## 担当窓口

宮崎労働局 雇用環境・均等室 企画・調整係 柴田

宮崎市橘通東3-1-22 宮崎合同庁舎4階

TEL:0985-38-8821 FAX:0985-38-5028

宮崎労働局発表  
令和元年7月30日解禁

【照会先】  
宮崎労働局職業安定部  
部長 大原 竜太  
職業安定課長 清水 由美  
地方労働市場情報官 岩下 利男  
(代表電話)0985(38)8823

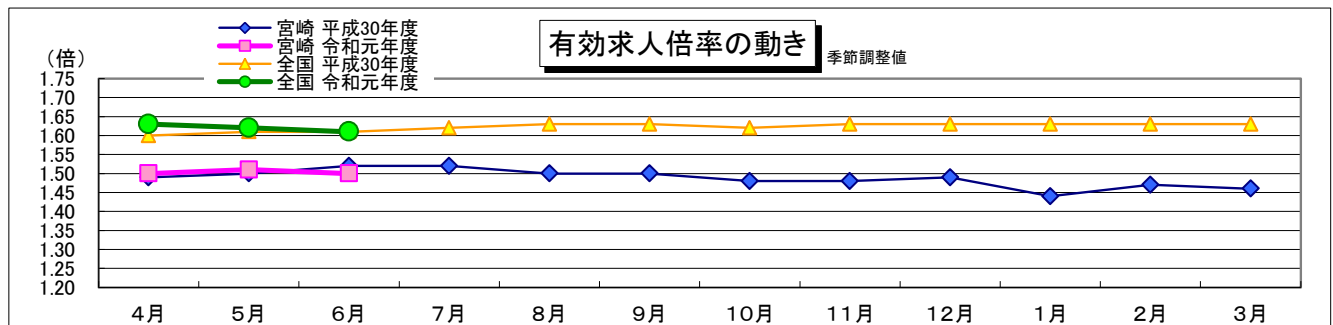
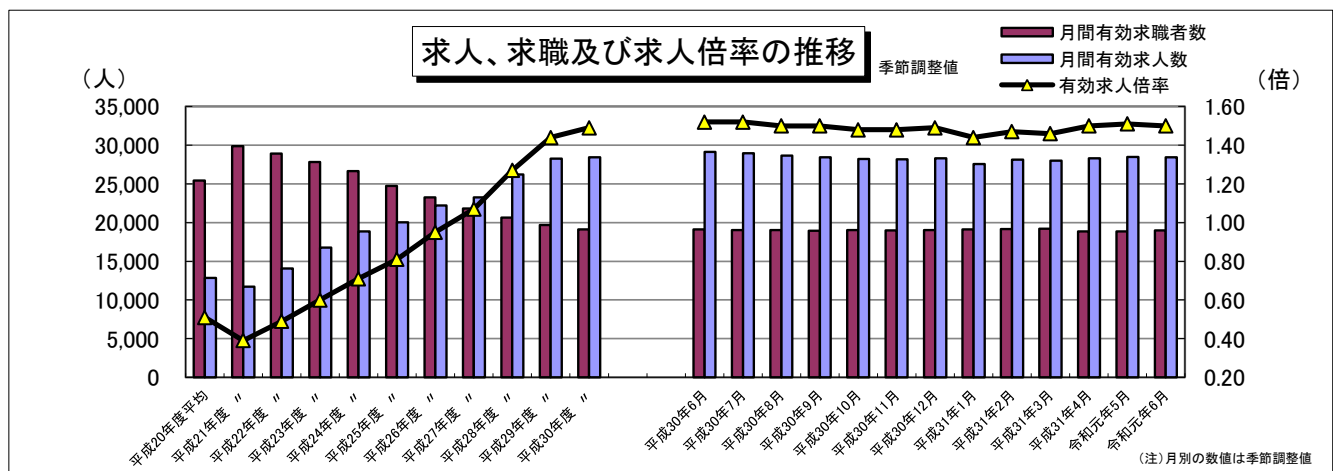
報道関係者 各位

## 雇用失業情勢(令和元年6月分)

令和元年6月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.50倍と前月より0.01ポイント低下。  
有効求人倍率は、48ヶ月連続で1倍台を維持。  
正社員有効求人倍率(原数値)は、1.00倍と前年同月より0.05ポイント上昇。  
雇用失業情勢は、着実に改善が進んでいる。

- ・令和元年6月の【有効求人倍率】(季節調整値)は、前月より0.01ポイント下回り1.50倍となった。
- ・【有効求職者数】は、前月比(季節調整値)で0.6%増、前年同月比(原数値)で1.3%減(99ヶ月連続)。
- ・【有効求人数】は、前月比(季節調整値)で0.2%減、前年同月比(原数値)で3.1%減(8ヶ月連続)。
- ・【新規求職者数】は、前年同月比(原数値)0.7%減、【新規求人数】は、前年同月比(原数値)7.4%減となった。

本県の労働市場における有効求人倍率(季節調整値)は、有効求職者数(同)が前月比0.6%増加し、有効求人数(同)は前月比0.2%減少したこと  
から、前月より0.01ポイント下回り**1.50倍**となった。  
新規求職者数(原数値)は、前年同月比で0.7%(33人)減少となった。なお、有効求職者数(原数値)は、前年同月比1.3%(251人)減少し99ヶ月連続  
となっている。  
新規常用求職者(パートを除く)を求職時の態様別にみると、前年同月比で在職者が5.0%(51人)増、離職者が3.5%(63人)減、無業者が20.2%(33  
人)減となった。なお、離職者のうち、事業主都合離職者は3.2%(11人)増となっている。  
一方、新規求人数(原数値)は、前年同月比で7.4%(754人)減少となった。また、有効求人数(原数値)は、前年同月比で3.1%(869人)の減少で8ヶ  
月連続となっている。  
新規求人数を産業別にみると、前年同月比で18産業中8産業で増加となった。内訳としては、建設業が90人(12.5%)増、運輸業、郵便業が86人  
(23.8%)増、学術研究、専門・技術サービス業が73人(28.9%)増等となる一方、サービス業(他に分類されないもの)が325人(17.0%)減、卸売業、小売業  
が308人(22.7%)減、医療、福祉が242人(8.3%)減等(18産業中10産業で減少)となったことから、全体で754人(7.4%)の減少となった。



有効求人倍率(季節調整値、倍)

※令和元年度(平成31年4月を含む。)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
宮崎	平成30年度	1.49	1.50	1.52	1.52	1.50	1.50	1.48	1.48	1.49	1.44	1.47	1.46
	令和元年度	1.50	1.51	1.50									
全国	平成30年度	1.60	1.61	1.61	1.62	1.63	1.63	1.62	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63
	令和元年度	1.63	1.62	1.61									

○季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、平成30年12月以前の数値は、平成31年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

## 1. 新規求職の動き<原数値>

<数値の対比は前年同月比>

○【新規求職者数】(原数値)は、4,508人で0.7%(33人)減少となった。

新規常用求職者(パートを除く)を求職時の態様別にみると、前年同月比で在職者が5.0%(51人)増、離職者が3.5%(63人)減、無業者が20.2%(33人)減となった。なお、離職者のうち、事業主都合離職者は3.2%(11人)増となっている。

また、パートを除く新規常用求職者を10歳刻みの年齢階層別(6区分)にみると、24歳以下が13.9%(49人)増、25～34歳が5.4%(38人)減、35～44歳が9.0%(65人)減、45～54歳が1.1%(7人)増、55歳～64歳が1.1%(5人)減、65歳以上が5.0%(7人)増で、全体では1.5%(45人)減となっている。(別表7参照)

常用求職者を職業別にみると、「専門的・技術的職業」が2.8%(19人)減、「事務的職業」が2.5%(27人)増、「販売の職業」が20.2%(74人)減、「サービスの職業」が3.6%(25人)減、「農林漁業の職業」が21.1%(19人)増、「生産工程の職業」が2.8%(11人)増、「輸送・機械運転の職業」が8.5%(16人)増、「建設・採掘の職業」が11.6%(13人)減、「運搬・清掃等の職業」が4.0%(27人)減となった。

### 新規求職(パートを含む、人)

※令和元年度(平成31年4月を含む。)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	6,480	5,294	4,541	4,555	4,774	4,462	4,871	4,053	3,252	5,249	4,951	5,128	57,610
令和元年度	6,288	5,021	4,508										15,817
対前年同月比	-3.0%	-5.2%	-0.7%										-3.1%

## 2. 新規求人の動き<原数値>

<数値の対比は前年同月比>

○【新規求人数】(原数値)は、9,421人で7.4%(754人)減少となった。

新規求人数を産業別にみると、前年同月比で18産業中8産業で増加となった。内訳としては、建設業が90人(12.5%)増、運輸業、郵便業が86人(23.8%)増、学術研究、専門・技術サービス業が73人(28.9%)増等となる一方、サービス業(他に分類されないもの)が325人(17.0%)減、卸売業、小売業が308人(22.7%)減、医療、福祉が242人(8.3%)減等(18産業中10産業で減少)となったことから、全体で754人(7.4%)の減少となった。(別表8参照)

### 新規求人(パートを含む、人)

※令和元年度(平成31年4月を含む。)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	10,558	10,115	10,175	10,237	10,011	10,005	10,950	9,963	8,468	11,038	10,819	9,743	122,082
令和元年度	10,323	9,733	9,421										29,477
対前年同月比	-2.2%	-3.8%	-7.4%										-4.4%

## 3. 職業紹介状況について(パートを含む)<原数値>

<数値の対比は前年同月比>

○【職業紹介状況】は、紹介件数が533件(8.8%)減の5,549件となり、就職件数は144件(6.4%)減の2,115件となった。就職率(対新規求職者)は、2.8ポイント下回って46.9%となった。

うち、パートの紹介件数は4件(0.2%)減の1,715件となり、就職件数は2件(0.3%)減の779件となった。  
就職率(対新規求職者)は、0.8ポイント下回って49.8%となった。

### 就職(パートを含む、件)

※令和元年度(平成31年4月を含む。)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
就職件数	平成30年度	2,394	2,514	2,259	2,116	2,116	1,948	2,281	2,038	1,569	1,619	2,096	2,474	25,424
	令和元年度	2,210	2,139	2,115										6,464
	対前年同月比	-7.7%	-14.9%	-6.4%										-9.8%
就職率	平成30年度	36.9%	47.5%	49.7%	46.5%	44.3%	43.7%	46.8%	50.3%	48.2%	30.8%	42.3%	48.2%	44.1%
	令和元年度	35.1%	42.6%	46.9%										40.9%

(注)就職率は新規求職者数に対する比率

## 4. 正社員有効求人倍率の動き<原数値>

○【正社員有効求人倍率】(原数値)は、1.00倍となり、前年同月比で0.05ポイント上昇した。

(正社員有効求人数 12,196人 常用フルタイム有効求職者数 12,220人)

※正社員有効求人倍率:正社員有効求人数/常用フルタイム有効求職者数。なお、常用フルタイム有効求職者数にはフルタイムの派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率よりも低い値となる。

次回公表予定日 令和元年8月30日(金)

別表1 職業紹介状況(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	令和元年6月	令和元年5月	対前月 増減率(差) (%)	平成30年6月	対前年同月 増減率(差) (%)
1 月間有効求職者数(人)	19,503	20,107	—	19,754	▲1.3
季節調整値	* 18,985	* 18,869	0.6	19,112	—
2 新規求職申込件数(件)	4,508	5,021	—	4,541	▲0.7
3 月間有効求人数(人)	27,331	27,578	—	28,200	▲3.1
季節調整値	* 28,414	* 28,469	▲0.2	29,128	—
4 新規求人数(人)	9,421	9,733	—	10,175	▲7.4
5 紹介件数(件)	5,549	5,813	\	6,082	▲8.8
6 就職件数(件)	2,115	2,139		2,259	▲6.4
7 就職率(6/2)(%)	46.9	42.6		49.7	▲2.8
8 充足数(件)	2,049	2,075		2,170	▲5.6
9 充足率(8/4)(%)	21.7	21.3		21.3	0.4

\* 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、平成30年12月以前の数値は、平成31年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

別表2 有効求人倍率(季節調整値、倍)

	令和元年6月	令和元年5月	前月差 (ポイント)	平成30年6月
宮崎県	1.50	1.51	▲0.01	1.52
全国	1.61	1.62	▲0.01	1.61

別表3 雇用保険一般受給者実人員の推移(基本手当基本分、人)

※令和元年度(平成31年4月を含む。)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成29年度	3,540	4,395	4,290	4,489	4,914	4,568	4,591	4,229	3,828	3,874	3,706	3,670
平成30年度	3,581	4,444	4,200	4,553	4,607	4,331	4,371	4,024	3,774	3,839	3,590	3,462
令和元年度	3,579	4,141	4,034									

(受給者実人員=失業給付を実際に受けた受給資格者の実数をいう)

別表4 安定所別有効求人倍率(原数値、倍)

	令和元年6月	令和元年5月	平成30年6月	前年同月差 (ポイント)
宮崎	1.51	1.48	1.54	▲0.03
延岡	1.06	1.12	1.12	▲0.06
日向	1.13	1.10	1.14	▲0.01
都城	1.77	1.68	1.84	▲0.07
日南	0.99	0.93	1.09	▲0.10
高鍋	1.15	1.09	1.05	0.10
小林	1.48	1.53	1.35	0.13
県計	1.40	1.37	1.43	▲0.03

別表5 九州各県の有効求人倍率(季節調整値、倍)

	令和元年6月	令和元年5月	前月差 (ポイント)	平成30年6月
福岡	1.59	1.59	0.00	1.63
佐賀	1.32	1.30	0.02	1.32
長崎	1.22	1.26	▲0.04	1.25
熊本	1.61	1.59	0.02	1.77
大分	1.54	1.57	▲0.03	1.56
宮崎	1.50	1.51	▲0.01	1.52
鹿児島	1.36	1.37	▲0.01	1.30
沖縄	1.18	1.18	0.00	1.16

\* 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、平成30年12月以前の数値は、平成31年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

別表6 パートタイム職業紹介状況

	令和元年6月	令和元年5月	平成30年6月	前年同月 増減率・差 (%)
1 月間有効求職者数(人)	7,251	7,366	7,148	1.4
2 新規求職申込件数(件)	1,564	1,808	1,545	1.2
3 月間有効求人数 (人)	9,268	9,501	9,420	▲1.6
4 新規求人数 (人)	3,026	3,352	3,481	▲13.1
5 紹介件数 (件)	1,715	1,789	1,719	▲0.2
6 就職件数 (件)	779	770	781	▲0.3
7 充足数 (件)	743	731	753	▲1.3
8 充足率 (%)	24.6%	21.8%	21.6%	3.0

別表7 新規常用求職者の求職時の態様別内訳(パートを除く)

県 計		24歳以下	25歳～34歳	35歳～44歳	45歳～54歳	55歳～64歳	65歳以上	合計
新規求職申込件数	令和元年6月	402	664	658	616	449	147	2,936
	平成30年6月	353	702	723	609	454	140	2,981
	前年比	13.9%	▲5.4%	▲9.0%	1.1%	▲1.1%	5.0%	▲1.5%
在職者	令和元年6月	140	271	275	237	127	22	1,072
	平成30年6月	127	281	297	205	96	15	1,021
	前年比	10.2%	▲3.6%	▲7.4%	15.6%	32.3%	46.7%	5.0%
離職者	令和元年6月	228	365	362	358	304	117	1,734
	平成30年6月	180	382	405	375	339	116	1,797
	前年比	26.7%	▲4.5%	▲10.6%	▲4.5%	▲10.3%	0.9%	▲3.5%
事業主都合	令和元年6月	21	54	72	88	83	40	358
	平成30年6月	13	54	78	83	84	35	347
	前年比	61.5%	0.0%	▲7.7%	6.0%	▲1.2%	14.3%	3.2%
自己都合	令和元年6月	206	304	278	259	184	62	1,293
	平成30年6月	167	321	318	276	223	65	1,370
	前年比	23.4%	▲5.3%	▲12.6%	▲6.2%	▲17.5%	▲4.6%	▲5.6%
無業者	令和元年6月	34	28	21	21	18	8	130
	平成30年6月	46	39	21	29	19	9	163
	前年比	▲26.1%	▲28.2%	0.0%	▲27.6%	▲5.3%	▲11.1%	▲20.2%

別表8 産業別・規模別新規求人状況(原数値)

項 目	求 人 状 況				
	令和元年6月	令和元年5月	平成30年6月	前年同 月比(%)	
産業別・規模別					
A.B 農、林、漁業	208	206	210	▲1.0	
C 鉱業、採石業、砂利採取業	2	8	5	▲60.0	
D 建設業	812	663	722	12.5	
E 製造業	790	1,031	967	▲18.3	
食料品製造業	146	367	214	▲31.8	
飲料・たばこ・飼料製造業	64	118	159	▲59.7	
繊維工業	92	105	116	▲20.7	
木材・木製品製造業	135	80	102	32.4	
家具・装備品製造業	3	12	14	▲78.6	
パルプ・紙・紙加工品製造業	11	14	10	10.0	
印刷・同関連業	14	29	43	▲67.4	
化学工業	65	10	69	▲5.8	
石油製品・石炭製品製造業	0	0	0	-	
プラスチック製品製造業	18	37	29	▲37.9	
ゴム製品製造業	20	7	5	300.0	
窯業・土石製品製造業	21	25	9	133.3	
鉄鋼業	6	0	1	500.0	
非鉄金属製造業	1	0	0	-	
金属製品製造業	50	29	44	13.6	
はん用機械器具製造業	18	37	18	0.0	
生産用機械器具製造業	9	9	22	▲59.1	
業務用機械器具製造業	17	53	7	142.9	
電子部品・デバイス・電子回路製造業	11	33	36	▲69.4	
電気機械器具製造業	23	10	26	▲11.5	
情報通信機械器具製造業	23	9	28	▲17.9	
輸送用機械器具製造業	24	26	6	300.0	
その他の製造業	19	21	9	111.1	
F 電気・ガス・熱供給・水道業	5	6	10	▲50.0	
G 情報通信業	154	203	136	13.2	
H 運輸業、郵便業	448	537	362	23.8	
I 卸売業、小売業	1,047	1,280	1,355	▲22.7	
J 金融業、保険業	29	75	50	▲42.0	
K 不動産業、物品賃貸業	93	85	97	▲4.1	
L 学術研究、専門・技術サービス業	326	141	253	28.9	
M 宿泊業、飲食サービス業	503	794	433	16.2	
宿泊業	138	110	88	56.8	
N 生活関連サービス業、娯楽業	434	297	368	17.9	
O 教育、学習支援業	148	184	108	37.0	
P 医療、福祉	2,676	2,758	2,918	▲8.3	
Q 複合サービス事業	70	98	181	▲61.3	
R サービス業(他に分類されないもの)	1,587	1,235	1,912	▲17.0	
S.T 公務、その他	89	132	88	1.1	
合 計	9,421	9,733	10,175	▲7.4	
規 模 別	29人以下	6,208	6,168	6,676	▲7.0
	30～99人	2,245	2,300	2,299	▲2.3
	100～299人	741	924	914	▲18.9
	300～499人	143	146	201	▲28.9
	500～999人	69	117	83	▲16.9
1,000人以上	15	78	2	650.0	

産業分類は、平成25年10月改定の「日本標準産業分類」に基づく。

# 正社員の有効求人倍率（原数値）の推移

○ 正社員有効求人倍率は、1.00倍と前年同月比で0.05ポイント上昇。

(倍)

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
1月		0.45	0.43	0.46	0.40	0.28	0.25	0.34	0.39	0.42	0.51	0.59	0.68	0.82	0.98	1.05
2月		0.43	0.44	0.47	0.40	0.26	0.24	0.35	0.38	0.42	0.51	0.58	0.69	0.81	0.97	1.05
3月		0.41	0.43	0.43	0.38	0.24	0.24	0.33	0.37	0.41	0.50	0.57	0.67	0.77	0.93	1.01
4月		0.36	0.39	0.38	0.33	0.21	0.22	0.30	0.34	0.37	0.46	0.53	0.64	0.74	0.90	0.98
5月		0.32	0.39	0.35	0.32	0.19	0.21	0.29	0.34	0.36	0.46	0.52	0.65	0.75	0.90	0.97
6月		0.30	0.38	0.35	0.29	0.18	0.21	0.30	0.34	0.38	0.48	0.52	0.67	0.77	0.95	1.00
7月		0.31	0.38	0.35	0.30	0.19	0.22	0.31	0.35	0.40	0.49	0.55	0.67	0.79	0.96	
8月		0.32	0.41	0.37	0.32	0.19	0.24	0.33	0.37	0.43	0.51	0.59	0.71	0.82	0.96	
9月		0.34	0.41	0.38	0.32	0.20	0.26	0.33	0.38	0.45	0.53	0.61	0.73	0.85	0.97	
10月		0.36	0.41	0.39	0.31	0.21	0.27	0.33	0.39	0.46	0.54	0.63	0.76	0.87	0.99	
11月	0.43	0.39	0.44	0.39	0.31	0.21	0.29	0.35	0.40	0.47	0.58	0.66	0.77	0.90	1.01	
12月	0.44	0.41	0.45	0.41	0.30	0.23	0.33	0.37	0.42	0.50	0.59	0.68	0.81	0.94	1.06	

(資料出所) 宮崎労働局集計

※数値は原数値。

※正社員とは、パートタイムを除く常用のうち、勤め先で正社員・正職員などと呼称される正規労働者をいう。

※正社員有効求人倍率＝正社員有効求人数／常用フルタイム有効求職者数。なお、常用フルタイム有効求職者にはフルタイムの派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

※令和元年は、平成31年1月～4月を含む。



## 【参考指標】 就業地別の求人数を用いた有効求人倍率（季節調整値）（元年6月）

### 「就業地別の求人を用いた有効求人倍率」とは

→実際に就業する都道府県を求人地として集計した有効求人倍率。なお、通常発表している都道府県別の有効求人倍率は、求人を受理した場所を求人地として集計している。

- 本社が多く所在する地域では、受理地別の有効求人倍率より「就業地別の求人数を用いた有効求人倍率」が低い傾向がある。
- 宮崎県の「就業地別の求人を用いた有効求人倍率」は1.64倍で受理地別の有効求人倍率(1.50倍)より0.14ポイント高い。

		① 有効求職者数	② 有効求人数	③ 就業地別 有効求人数	④ 有効求人倍率  ②/①	⑤ 【参考指標】 就業地別 有効求人倍率  ③/①	⑥差  ⑤-④
平成30年	6月	19,112	29,128	31,833	1.52	<b>1.67</b>	0.15
	7月	19,020	28,959	31,752	1.52	<b>1.67</b>	0.15
	8月	19,035	28,638	31,590	1.50	<b>1.66</b>	0.16
	9月	18,959	28,438	31,357	1.50	<b>1.65</b>	0.15
	10月	19,016	28,202	31,114	1.48	<b>1.64</b>	0.16
	11月	18,984	28,159	31,163	1.48	<b>1.64</b>	0.16
	12月	19,016	28,295	31,303	1.49	<b>1.65</b>	0.16
平成31年	1月	19,135	27,554	30,519	1.44	<b>1.59</b>	0.15
	2月	19,176	28,141	31,143	1.47	<b>1.62</b>	0.15
	3月	19,198	28,000	30,725	1.46	<b>1.60</b>	0.14
	4月	18,834	28,324	30,944	1.50	<b>1.64</b>	0.14
令和元年	5月	18,869	28,469	31,528	1.51	<b>1.67</b>	0.16
	6月	18,985	28,414	31,155	1.50	<b>1.64</b>	0.14

(資料出所) 宮崎労働局

※ 数値は季節調整値。季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、平成30年12月以前の数値は、平成31年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

※ 有効求職者数は求職を受理したハローワークが所在する都道府県単位で集計。

※ 季節求人については受理所を就業地とみなしている。

※ 1件の求人に複数の就業地があり、就業地毎の求人数が明確でない場合、それぞれの就業地に順番に求人数を割り当てて配分している。



宮崎労働局発表  
令和元年7月30日解禁

【照会先】  
宮崎労働局 雇用環境・均等室  
室長 丸山 太一  
監理官 多田 真理子  
企画・調整係 柴田 健太郎  
(代表電話)0985-38-8821  
(直通電話)0985-38-8821

## 宮崎労働局・労働基準監督署・公共職業安定所（ハローワーク）の 行事予定（令和元年8月）

宮崎労働局（局長 大津 英喜）は、宮崎労働局及び県内各労働基準監督署・各公共職業安定所（ハローワーク）の主要な行事予定を取りまとめました。

取材・報道等にご活用ください。

## 令和元年8月 宮崎労働局・監督署・安定所(ハローワーク)主要行事予定表

8月		主要行事(労働局・監督署・安定所)
1	木	第2回宮崎地方最低賃金審議会(宮崎合同庁舎4階会議室13:30～) 2019年度第2回宮崎県災害防止団体等連絡協議会(宮崎合同庁舎15:00～)
2	金	令和元年度宮崎県林材業労働災害防止大会(新富町文化会館10:00～)
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	第3回宮崎地方最低賃金審議会(宮崎合同庁舎4階会議室17:00～) マザーズコーナー座談会～働き方のホンネ～(ハローワークプラザ宮崎10:00～12:00) 労働時間等法制度説明会(宮崎監督署)(場所:宮崎労働基準協会会議室13:30～15:30)
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	労働時間等法制度説明会(都城監督署)(都城合同庁舎2階会議室10:00～11:30)
24	土	
25	日	
26	月	第4回宮崎地方最低賃金審議会(宮崎合同庁舎4階・時間調整中)
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	
備 考		



# GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局  
宮崎市橘通東3-1-22  
宮崎合同庁舎  
TEL0985(38)8821  
FAX0985(38)5028

子育てサポート企業

## くるみん認定 県内初3つ星

右から丸山雇用環境・均等室長、榊宮崎銀行の桑畑氏、岩満人事部長、後藤副部長、吉田前局長



宮崎労働局は、6月25日に子育てサポート企業「くるみん」の認定式を実施しました。認定を受けたのは株式会社宮崎銀行で、認定式も同行で行われ、2011年、2014年に続き3回目の認定となり、県内初の3つ星が付与されました。

また、同行は女性活躍推進担当者の取組として、社内イントラネット上で男性の育児休業や子の看護休暇の取得促進を図る他、育休復帰者共通の悩み等の意見交換を行ったり、座談会を実施しています。こうした取組などの内容が評価されました。

吉田前局長が岩満人事部長に認定書を交付した後、取組事例の報



意見交換の様子

「くるみん」とは

次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と家庭の両立を支援するための行動計画を策定し、その目標を達成するなどの優良企業を「子育てサポート企業」として認定するものです。

告をいただき、意見交換を行いました。岩満部長は「今後も子育て支援策の充実を図って、働きやすい環境を作っていきたいです」と話されました。

宮崎労働局では、今後とも両立支援に積極的に取り組む企業を応援していきます。



宮崎県民の皆様  
よましくお願ひします



大津英喜新局長

現状、労働行政では、働き方改革の順次の施行、人材不足の問題、若者、女性、高齢者、障害者等々の活躍促進等、課題が山積しています。こうした中、行政、関係機関等の皆様方と緊密な連携を図り、県民の皆様方が健康で働いていただくことが、私に課せられた使命であると感じております。働く皆様方の健康管理等を十分考慮し、本県の実情、ニーズに沿い、本県のため、貢献して参りたいと思っています。

私の出身は九州でありまして、愛着、親しみのある本県で仕事ができることに光栄に思っております。

## 働き方改革職場訪問

三和ニューテック株式会社・宮崎都城信用金庫

県内企業の「働き方改革」を推進するため、宮崎労働局は6月27日に三和ニューテック株式会社、7月12日に宮崎都城信用金庫を訪問し、それぞれの取組を伺いました。三和ニューテックの田上管理本部長からは「フレックスタイム制の活用で仕事の進捗に合わせて休憩や就業時間の調整ができ従業員からも好評です」。また、宮崎都城信用金庫の落合理事長からは「月1回の定時退庫を設定し、全店で時間外労働の縮減に努めています」とそれぞれ説明がありました。宮崎労働局からは、更なる取組の推進をお願いしました。



三和ニューテックの田上管理本部長(右)に要請する吉田前局長(左)



宮崎都城信用金庫の落合理事長(右)に要請する吉田前局長(左)



安全衛生に係る  
宮崎労働局長表彰

受彰おめでとう  
ございます

表彰状を授与された皆さんと吉田前局長  
(前列中央)



7月1日、安全衛生に係る宮崎労働局長表彰式を宮崎労働災害防止関係団体の支部長御臨席のもと、宮崎市で開催いたしました。功績のあった4つの団体と個人3名(右下表)に対して、宮崎労働局長から表彰状

が授与されました。

吉田前局長から各受賞者に対して「これまで長年、皆様方が労働安全衛生の水準を向上させるために、積極的に取り組んでこられたことに感謝申し上げます。今後も地域や同業種事業場の模範となられるよう期待しています」との言葉を贈りました。

夏の生活スタイル変革! ゆう活

ゆう活を要請

6月26日から28日にかけて宮崎労働局は「働き方改革」と「ゆう活」について団体要請を行いました。「ゆう活」とは、夏は早くから働き、その分早めに仕事を終えて、明るい夕方の時間を有効に活用しようとする取組です。要請先は、宮崎県経営者協会、宮崎県商工会議所連合会、宮崎県中小企業団体中央会、宮崎県商工会連合会、宮崎県中小企業家同友会、宮崎県工業会及び日本労働組合総連合会宮崎県連合会の7団体。各企業の実情に応じた働きやすい環境整備をお願いしました。



宮崎県経営者協会の河野専務(右)に要請する吉田前局長(27日)

企業ブースに並ぶ高校生(県央会場)

1,583人の高校生にPR  
魅力ある県内企業に目を向けて



労働局とハローワークは、県や自治体と共催し、来春高校卒業予定者を対象とした県内企業との出会いのイベント、「令和元年度応募前ジュニアワークフェア」を開催。7月8日シーガイアコンベンションセンター(県央)を皮切りに、



吉田研一前局長  
(7月9日付異動)

とあいつ  
うづつも  
ごかも  
ざりお  
い、力  
まあ添  
しりえ  
たがに

この度、厚生労働省職業安定局高年齢者雇用対策分析官に転任することになりました。宮崎労働局長として、2年間、働き方改革の推進など宮崎県の課題に微力ながら力を尽くせましたことは、一重に宮崎県民の皆様からのご助言ご指導の賜物にほかなりません。

プライベートでは各地・キャンプ地巡りなども楽しめました。これからは、70歳までの就業機会の確保に向けて努力したいと考えております。今後とも一層、宮崎労働局へのご支援を宜しくお願い致します。

- 優良賞: 宮崎エプソン(株) 三桜電設(株) 西松・大淀特定建設工事共同企業体産地食肉センター施設整備工事
- 奨励賞: 旭化成(株) エルタス工場
- 功績賞: 矢野俊也氏 飯田富雄氏
- 安全衛生推進賞: 井野初代氏

県北・都城・小林の計4地区で延べ210社の企業と1583人の生徒が参加しました。高卒求人が公開となる7月の早い段階で魅力ある宮崎県内の企業に目を向けてもらうこと、より深い職業理解を促すことにより、県内就職の促進や早期離職の防止を目的としています。生徒にとっては、県内企業の魅力を発見し、進路の選択肢についてリアルな情報を得る貴重な機会となり、また、企業にとっては将来を担う若い人材を確保するためのアピールの場となりました。9月16日の採用選考開始に向け、担当者が熱のこもった説明を行っていました。